

報告書抄録

ふりがな	みつやいせき							
書名	三津屋遺跡							
シリーズ名	県営水質保全対策事業（白鳥川中流2期地区）に伴う発掘調査報告書							
シリーズ番号								
編著者名	鈴木康二							
編集機関	滋賀県			公益財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	滋賀県大津市京町四丁目1番1号			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2				
発行年月	令和3年（2021年）3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
みつやいせき 三津屋遺跡	しがけん 滋賀県 ひがしおうみし 東近江市 みつやちよう 三津屋町	252131	205-154	35度 5分 39秒	136度 9分 34秒	20170403 ～ 20190724	10,150 m ²	水質保全 対策事業
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
三津屋遺跡	集落跡	縄文時代				縄文土器・石鏃		
		鎌倉～室町時代		溝		土師器		
		江戸時代以降		溝・素掘り井戸・ 土坑・小穴		陶器・磁器・瓦・ 鉄製鬚水入れ		
要約	<p>今回の調査区は、三津屋遺跡の南西端に位置する。</p> <p>調査区のうち、北区（T1・9・10）では、土坑群を検出したほか、溝・素掘り井戸などを検出している。南区（T2～8）では、溝、素掘り井戸のほか、多数の倒木痕を確認している。遺物では、近世以降の陶磁器、金属器等のほか、縄文土器や石鏃、中世頃の土師器等も確認している。</p> <p>当該地一帯が中世以降、農耕地として連綿と利用されつつ、近世末頃からは、積極的な土地改変等も行われてきたこと、そして併せて江戸後期を中心とした、当時の農村部での生活の様子についても、その一端を確認することができた。</p>							